

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年 3月 1日

事業所名 スタジオそら鷺沼

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	4	3	時間で活動部屋を分け、スペースが十分に使えるよう配慮しています。集団では狭く感じることがありますが、プログラムを工夫しています。	活動内容によっては部屋が狭く感じることもあるので、安全管理および遊びの内容に関しては今後も留意していきます。
	② 職員の配置数は適切であるか	5	2	活動内容によってはスタッフを2名配置するなど、活動によっては柔軟な対応ができるように心がけています。	配置人数は満たしています。効果的な療育ができるよう余裕を持った人員配置を行ってまいります。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7	0	イラストや絵カード等を使用し、活動する部屋を視覚的に理解できるように努めています。	玄関に段差や柱などの障害物があるため、事故が起きないようにより一層の配慮をいたします。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間になっている。	4	3	日々の清掃・消毒を欠かさず行っています。また、月に1度クレンジングを行い、普段清掃できていない細かなところもチェックするようにしています。	オゾンや空気清浄機、捕虫器を設置し、引き続き異臭対策や害虫対策を行ってまいります。
適切な支援の内容	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画している	7	0	綿密なモニタリングやケース会議を行い、次期の個別支援計画の改善点に関しての会議を日々行っています。	引き続き、支援の充実化を図ります。
	⑥ 保護者向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げている	7	0	11月に保護者評価アンケートを実施し、全スタッフがいただいたご意見・ご感想に目を通しています。	いただいたご意見を職員間で協議し、対策を考えて実施してまいります。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0	12月に自己評価を行い、結果をホームページで公開しています。	引き続き、保護者評価と自己評価を行い、内容を公開していきます。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	5	第三者による外部評価は行っていません。	必要となった場合には、対応を検討していきます。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	1	定期的に研修を行っていますが、実際に現場に即したもののかははっきりと断言できません。	現場に必要な研修は何かを協議し、より効果的なものを実施していきます。
業務改善	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7	0	自社独自のアセスメントツールを使用し、適切かつ客観的な分析を行っています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	0	弊社独自のアセスメントツールを使用しています。	評価が独断的にならないよう、不確定な項目は複数人で考察し評価を行ってまいります。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	1	必ず作成前に保護者からの聞き取り(お困りごと、興味のあること、ご家庭や集団生活の様子)を行い、その内容とアセスメントの結果をもとに支援計画書の内容を決定しています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7	0	プログラムを決定する際に、個別支援計画書とサービス提供記録の内容を確認して立案を行っています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	6	1	朝礼時や昼礼時に前回の振り返りや情報の共有、確認を行っています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	前回の記録の内容を確認し、内容が重複しないように工夫しています。	他者に相談をしたり、本やインターネットを参考にしたりしながらプログラムの内容を考え、固定化しないように努めます。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7	0	お子さんの様子を把握し、保護者の方と相談をして個別と集団の活動内容を検討し、適宜組み合わせる支援計画書を作成しています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	朝礼・昼礼の時間を設け、支援内容や役割分担を協議しています。	引き続き、支援の充実を図ります。

	⑱	支援終了後は、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	0	昼礼と終礼を毎日行い、お子さんの様子の振り返りや保護者の方と話した内容の共有、ヒヤリハットやその他の伝達事項を行っています。	引き続き、職員間で情報を共有していきます。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	療育後はサービス提供記録に記入しています。情報共有シートを活用し、支援計画書以外の目標や注意点などもスタッフと共有しています。	明解かつ具体的な記入を心がけています。主観的な記録とならないよう、行った内容に対するお子様のご様子を記録に残していきます。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7	0	定期的にモニタリングとケース会議を行い、支援計画書の見直しを行っています。	児童発達支援管理責任者を含めた複数人で話し合いができるよう機会を設けていきます。また、保護者の方からの聞き取りも行っていきます。
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	4	モニタリングなどのやり取りは実施されていますが、担当者会議は行われていません。	担当者会議が開催される場合には児童発達支援管理責任者が参加いたします。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	1	6	現在は連携した支援は行われておりません。	必要に応じて実施を検討していきます。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	7	現在は対象児童はいません。	必要に応じて対応を検討していきます。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	7	現在は対象児童はいません。	必要に応じて対応を検討していきます。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	1	保護者からの要望があった際には、幼稚園や保育園への訪問、電話での情報共有等を行っております。	引き続き、支援の充実を図ります。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	3	小学校等と直接的なやり取りはしていません。保護者の方よりご希望があった際には、書類等を作成しております。	就学相談時の内容の聞き取りを行い、就学に向けて必要な支援や支援方法を検討していきます。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	6	モニタリング時に情報の共有を行っています。保護者の方から要望があった場合には、他事業所と連携をとり、電話等にて情報を共有しています。	お子様の様子や状況に合わせて、関係機関との連携を図っていきます。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	7	現在は実施する機会はありません。	必要に応じて対応を検討していきます。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	7	現在は参加していません。	参加の機会があれば、検討をいたします。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	1	フィードバック時にその日の取り組みの様子をお伝えしています。ご希望がある場合には、別途面談の時間を設けております。	フィードバック時以外にも面談ができるよう、こちらからお声掛けさせていただき機会を増やします。
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	1	6	プログラムとしての実施はありませんが、保護者のご相談には個別に対応させていただいています。	ニーズに合わせて、対応を検討していきます。
	㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	1	初回契約時に説明を行っています。	引き続き、丁寧な説明を心掛けていきます。
	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	1	丁寧に分かりやすい説明をするように心掛け、説明後に同意のサインを頂いています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	㉞	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	保護者の方よりご相談があった時には、お話を聞く時間を設けさせていただいています。	個人情報に配慮し、個室が空いている時には個室でご相談ができるように心がけています。

保護者への説明責任等	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	7	現在は実施しておりません。	必要に応じて対応を検討していきます。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	契約時に相談や申し入れ受付体制をご説明し、迅速かつ適切に対応できるように努めています。	引き続き、丁寧にご対応ができるよう努めてまいります。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0	毎月、そら通信をメールにて送付しています。また、スタジオ内にも掲示し、周知を図っています。	引き続き、情報を発信していきます。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	7	0	書類やパソコンは、鍵付きの書庫で保管しています。帰宅時には必ず施錠をしています。	以前は療育で部屋を使っている場合には待合室での面談、相談になってしまいましたが、今後は個室での面談を徹底してまいります。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	1	絵カードや文字を使うなど、そのお子に合わせて対応を行っています。	発達段階や様子を職員間で話し合い、適切な方法での対応を日々検討していきます。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	7	招待する機会はありませんでした。	例年そらコンサートを実施し、地域の方にも参加してもらえるようにしていましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症対策の為、実施できませんでした。
非常時の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	1	定期的にマニュアルに関する研修を行っています。保護者待合室にもマニュアルを設置し周知を図っています。	マニュアルの読み合わせと共に、実際に非常事態が起こった際の対応手順や連絡手順の確認なども行っています。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	地震と火災など、様々な状況を想定して訓練を行っています。また、伝言ダイヤルの使用訓練も実施しています。	訓練ごとに反省点や改善点を考え、実際に災害が起き時に職員が冷静に対応できるように努めていきます。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7	0	契約時に確認をしています。必要な対応方法や服薬などを確認し、書類にご記入いただき、職員間で共有しています。	個人ファイルに書類を入れ、いつでも対応方法を確認できるようにしています。予防接種については、接種直後は職員間で共有し、運動の内容を配慮を配慮していきます。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	1	フェイスシートでアレルギーについて確認、対応方法を把握するように努めています。	今後、食材を扱うイベント等では十分に注意いたします。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	0	毎日、終礼時に確認しています。必要に応じて情報共有シートに記入し、スタッフ全員が把握できるように努めています。	ヒヤリハット研修を行い、事故防止に努めてまいります。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	虐待防止研修を、年に2回実施しています。また、ご来所時などにお子様および保護者のご様子の変化に気がつけるようにしています。また、必要に応じてお声掛けをさせて頂いております。	研修により虐待についての理解を深め、防止に努めてまいります。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	1	現在は対象児童はいませんが、実際に行う場合の条件等については研修で共有、把握をしています。	対象児童がいる場合には、適切な説明と手続きを行っていきます。

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。